

(社)全日本鍼灸学会

平成 23 年度 第 1 回理事会 会議議事録要旨

I. 開催の日時及び場所

日 時：平成 23 年 6 月 18 日（土） 午後 3 時 02 分～午後 4 時 45 分

場 所：東京有明医療大学 301 教室

東京都江東区有明 2 丁目 9 番 1 号 (TEL 03-6703-7000)

II. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭

挨拶：会 長 後藤修司

議 長：会 長 後藤修司

議事に先立ち、後藤修司会長より挨拶があった。次に広井良典副会長より挨拶があった。さらに、東北支部長の武藤永治理事から被災地の状況が報告され、学会からの義援金などに対して謝意が述べられた。

【報告事項】

1. 各部事業中間報告（平成 23 年 3 月～5 月）

1) 事務局

福村昭事務局長より、資料に基づき説明があった。

2) 学術部

篠原昭二学術部長より、資料に基づき報告があった。続いて演者への連絡の際のミスによって、個人情報が出してしまったことに対する謝罪と再発防止への決意が述べられた。

3) 研究部

山下仁研究部長より、資料に基づき説明があった。また、第 61 回学術大会(三重大会)と同時に開かれる J S A M 国際シンポジウムに伴い、理事会開催時間を調整することになった。

4) 編集部

坂口俊二編集部長より、資料に基づき説明があった。九州大学のヴォルフガング・ミヒェル名誉教授の『近世ヨーロッパに伝えられた日本の鍼灸』を和訳し、ホームページに掲載する予定であることが告げられた。

5) 組織部

安藤文紀組織部長より、資料に基づき説明があった。

6) 国際部

高澤直美国際部長より、出席した国際学会について資料に基づき報告があった。ドイツなどで本学会と交流・協力していきたいとの要望があったことが話された。また、2011 年 11 月にサンパウロで開かれる、W F A S 国際シンポジウムへの参加が呼びかけられた。

7) 広報部

金井正博広報部長より、資料に基づき説明があった。メールマガジン登録者を増やしたい旨が述べられた。また、新サーバーに移転したので、何か不具合に気付いた際には知らせてほしいと呼びかけがあった。

8) J L O M 関連委員会

東郷俊宏 J L O M 関連委員会委員長より、オランダとフィンランドでの I S O の会議内容について資料に基づき説明があった。後藤会長からは J L O M の会計状況が厳しい中、日本鍼灸委員会等という形で日本の鍼灸の諸団体が 1 つにまとまり、協力し合うことが必要なのではないかとの提案があった。

以上、各部報告事項は了承された。

2. 認定委員会事業中間報告（平成 23 年 3 月～5 月）

福村昭認定委員会事務局長より、資料に基づき説明があった。平成 23 年 4 月 1 日付けで 47 名を認定登録したことの報告があり、了承された。

3. 平成 22 年度決算報告

小川卓良副会長より、資料に基づき報告があり、了承された。

4. 平成 22 年度監査報告

野口栄太郎監事により、資料に基づき説明があった。平成 22 年 5 月 22 日に宮本俊和監事と共に平成 22 年度収支決算及び財産目録等について監査を行った結果、正当かつ妥当であったとの報告があり、了承された。

5. 第 61 回学術大会準備報告

仲野彌和第 61 回学術大会(三重大会)実行委員長より、資料に基づき説明があった。

6. 第 62 回学術大会準備報告

清水大一郎九州支部長より、資料に基づき説明があった。開催期日については近日中に決定する予定であることが告げられた。

7. 演題登録者の個人情報流出についての経緯

学術部の各部事業中間報告で報告がなされた。

8. その他

1) 義援金について

福村事務局長より、5 月 31 日現在、47 名と 1 団体から総額 1,370,010 円の義援金が寄せられたことが報告され、謝意が表された。引き続き第 2 次義援金募集への協力が要請された。

以上、報告事項は了承された。

【審議事項】

1. 平成 23 年度各部事業計画案

各部長から追加の発言はなく、平成 23 年度各部事業計画案は賛成多数で承認された。

2. 平成 23 年度予算案

小川副会長より、資料に基づき説明があった。審議の結果、平成 23 年度予算案は賛成多数で承認された。

3. 名誉会員推薦の件

小川副会長より、学会設立 30 周年に当たり黒須幸男、黒野保三の両氏を名誉会員に推薦したいとの発議があり、審議の結果、両氏の名誉会員への推薦は賛成多数で承認され、通常総会で諮られることになった。

4. その他

1) 大会旗返還授与式について

学術大会において大会旗の返還授与式を執り行わないことが賛成多数で承認された。

2) 中部支部学術集会について

津田昌樹中部支部長より、資料に基づき報告があった。

3) 社会鍼灸学研究会について

第 6 回社会鍼灸学研究会の資料が配られ、後藤会長から説明がなされた。本年 8 月 20 日に社会鍼灸学研究会との共催で、「災害と鍼灸」に今回の東京宣言を併せるかたちでのプレスセミナーを開催するとのことが賛成多数で承認された。

4) 日本鍼灸に関する東京宣言について

「日本鍼灸に関する東京宣言（草案）」が資料として配られ、坂本歩参与より説明があった。宣言文はホームページに掲載する他、学会雑誌等にも掲載されると述べられた。

5) シンポジウムの学会雑誌掲載等について

第60回学術大会のシンポジウム等については、坂口編集部長から講演者に対して原稿依頼を行い、日本伝統鍼灸学会の学会雑誌及び本学会雑誌に掲載することになった。

また、第60回学術大会に先立って収録された形井秀一、北小路博司両氏による教育講演は、1年間ホームページでWeb配信することになった。

6) ホームページ掲載記事について

金井広報部長より、“基礎と臨床との交流”をもとに矢野忠顧問が執筆した記事を、ホームページに掲載する予定であることが賛成多数で承認された。

以上、審議事項は賛成多数で承認された。

以上をもって平成23年度第1回理事会の議事をすべて終了した。

理事会の議事の経過要領およびその結果を証するため議事録を作成し、議長および議事録署名人は次に記名・捺印する。

平成23年6月18日